

大杉谷国有林からの手紙

33通目 ～大杉谷は野鳥の楽園です～

いつもは、三重森林管理署の事業を主体にお伝えしていますが、今回は、趣を変えて大杉谷国有林に生息する野鳥について紹介します。

(1) オオルリ

調査個所に向かうために大杉谷国有林にある大台林道を走行していると、どこからかとてもきれいなさえずりが聞こえてきました！

辺りを確認してみるとヒノキのてっぺんに写真にあるような、瑠璃色の綺麗な鳥がとまって声を張り上げています。

この鳥はオオルリといって、冬の間は東南アジア方面に越冬するために帰っていますが、夏になると子育てのために日本に渡ってくる夏鳥です。この子はオスなので大きな声を張り上げて縄張りを維持し、メスに気に入ってもらえるよう必死に頑張っています。6月～8月の間が繁殖期なので、この時期に登山される方は綺麗な声が聞こえてきたらこの子かもしれませんね。



(2) キビタキ

国有林内を踏査していて少し休憩しようとして腰を下ろしたところ、なにやら遠くに黄色い動くものが見えたのでカメラで撮ってみました。少しピンぼけですがご了承ください。

この鳥の名前はキビタキです。名前のとおり、のど元と眉毛の部分が黄色くなっています。この子ははっきりと色が見えるのでオスですが、メスの場合は少し地味で全体的にオリーブ色のような見た目をしています。また、名前のヒタキの由来は、この仲間の鳥の鳴き方の一つに「カッ」というものがあり、昔の人が火打石を打つ音に似ていることから「火焚き」と名付けたところからだそうです。

夏鳥の仲間で、とても綺麗な声で鳴いてくれて、また食事の際には飛びながら虫を捕まえる

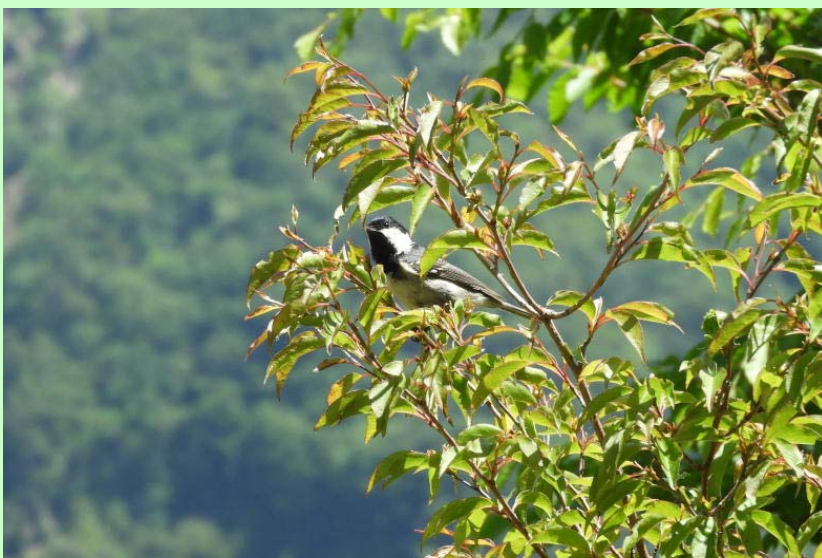


「フラインギキャッチ」がこの子の得意技です。見つかりにくいのと、すぐに飛んでいってしまうので難易度は高めなのですが・・・もし見れた時はじっくり観察してみると見せてくれるかもしれませんね！

(3) ヒガラ

国有林の中を歩いていると何やら木の上からツピツピと元気な声が聞こえてきました。その方向を向いて目を凝らしてみると、小さな体で元気に鳴くこの子に出会うことができました。

名前はヒガラです。小さな鳥が主なカラ類の一種です。特徴としては、胸元の黒色の部分が蝶ネクタイを締めているように見えること。のど元が黒くて頬が白いこと、写真では確認できませんが冠羽という頭の毛がぴょこんと上に逆立っていることが挙げられます。



大杉谷国有林ではよくいる種類のようなのですが、この時初めて大杉谷で姿を確認できたので、とても嬉しい気分になりました。

大杉谷国有林は自然豊かな山林で、もっともっと多くの野鳥が棲んでいます。登山で来られた際は少し聞き耳を立て、鳥の声を聞いてみるのも面白いのではないかと思います。

発行：三重森林管理署 尾鷲森林事務所 地域統括森林官